



Formula NIPPON

2012 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第7戦

予選 11/3 SAT. ・ 決勝 4 SUN.

あこのころの走りがよみがえる！

「フォーミュラマシン デモンストレーションラン」を開催！！

懐かしのフォーミュラマシンによるデモンストレーションランを行います。ステアリングを握るのは当時そのマシンに乗って活躍したドライバー、ノバ532P(F2000)は星野一義氏が、ローラT98(フォーミュラ・ニッポン)は野田英樹氏が担当します。

■日時: 11月4日(日)ピットウォーク中

■場所: 国際レーシングコース東コース

【参加マシン・ドライバー】

ノバ532P (1978年)

ドライバー: 星野一義



1974年11月のJAF鈴鹿グランプリレースで国内トップフォーミュラにデビューした星野一義は、いきなり3位に食い込む速さを披露。翌年には2勝を記録して全日本F2チャンピオンに輝いた。星野の勢いはその後も止まることなく、77年に2度目のシリーズチャンピオンを獲得。だがその星野の前に立ちはだかったのが77年にF2デビューした中嶋悟だった。

78年はともに「ノバ532P」に乗る星野と中嶋による対決が展開され、9月の鈴鹿グレート20ドライバーズレースでは息をのむ激しいバトルの末、

星野がわずかに早くゴールラインを横切ったが、その差はわずか0.07秒。日本のレース史に残る戦いだった。この年、星野が全日本F2チャンピオンを獲得し、鈴鹿F2選手権は中嶋が初のチャンピオンを獲得と、2人がタイトルを分けあった。

ローラT98/51 (1998年)

COSMO OIL RACING TEAM CERUMO ドライバー: 野田英樹



ヨーロッパで数々の日本人初記録を作った野田英樹が、1998年に国内トップフォーミュラ、フォーミュラ・ニッポンに復帰した際にステアリングを握ったのがこの「ローラT98/51」だ。この年は、F1帰りのN・フォンタナや、のちにフォーミュラ・ニッポンチャンピオンをステップにF1に登り詰めたR・ファーマン。現在フォーミュラ・ニッポンやSUPER GTで監督を務める

近藤真彦、金石勝智、黒澤琢弥、飯田章。SUPER GTで活躍している本山哲、脇阪寿一、道上龍、立川祐路。そしてWTCCでBMWに乗るT・コロネルなどが参戦しており、5人の優勝者が出る混戦のシーズンだった。そんな中、野田は開幕戦鈴鹿でいきなりの5位入賞。第6戦で3位表彰台に上ると、第8戦でポール・ポジションを獲得する大活躍を見せた。